

「いきいき ふくしま農林水産業振興プラン」関連

～あなたが使う農業水利施設は大丈夫ですか～

たとえば

- 1 水路の目地がボロボロ、表面がゴソゴソ、水路がタプタプ。
- 2 分水ゲートが錆びて動かない。扉体に穴が開いている。
- 3 取水堰が自動転倒しない。管理橋が錆びて危険である。
- 4 ポンプ場で故障が多く、揚水、排水に困っている。
- 5 ため池の張りブロックが吸い出しを受けて沈下している。など

これらを解決するためには

地域農業水利施設ストックマネジメント事業が有効です

【1. 対象施設】

- ① 団体営事業等で造成された農業水利施設
- ② 福島県地域農業水利施設保全対策実施方針に位置づけられた施設

【2. 採択要件】

- ① 受益面積が10ha以上。(100ha以上は、基幹水利施設で県営が基本)
- ② 事業費が30,000千円以上。
- ③ 機能向上を主な目的としていないこと。

【3. 事業を取り組むにあたっての地区設定】

- ① 単独施設での地区設定の他、複数施設を組み合わせることで採択要件を満足させることにより地区設定が可能。
 - 複数施設を組み合わせた地区設定例
 - ・ 県営かんがい排水事業で造成された幹線用水路に接続する支線用水路における複数箇所への補修・補強等
 - ・ 同一ほ場整備地区内の用排水施設における複数箇所への補修・補強等
 - ・ 同一土地改良区管理区域内の用排水施設における複数箇所への補修・補強等 (農村整備部)

担い手紹介

大熊町
企業組合アグリ・ママ

大熊町の企業組合アグリ・ママさんは、地産地消を基本とした加工受託やその販売、食育活動などが評価され、今年度農業賞を受賞されました。

平成11年からJAふたば女性部として味噌加工に取り組み始め、平成17年に有志で企業組合アグリ・ママとして設立し、現在でも活動を発展されています。

県内有数の栽培面積を誇る大豆や小豆、米などの地元農産物にこだわった、味噌、豆腐、もちなど様々な加工品の製造・販売を行っています。その他、体験学習などの食育活動、学校給食への食材提供、町内や県内外のイベントに参加し、販売促進や大熊町のPR活動なども積極的に行われています。

(双葉農業普及所)



地元大熊町の大豆を使った豆腐



祝賀会でJA組合長より花鉢贈呈

6次化で
魅力倍増!

新地町特産

「いちじく愛す(アイス)」

新地町の特産品であるイチジクを使ったアイス、「いちじく愛す」は、農産物直売所「あぐりや」さんで販売しています。

新地町が地元産品のブランド化を進めるために、農家や漁業者、商業者などで設立した「しんちブランド戦略会議」で開発され、ご当地ブランドの商品化第1弾として作成されました。

「いちじく愛す」という名前は、「地元を愛してほしい」との思いから命名されました。

バニラにイチジクの果肉がふんだんに混ぜ込んであり、イチジクの独特の風味を楽しめる「いちじく愛す」をぜひご賞味ください。

併せて4月からは新地町産のイチゴを使用した「いちご愛す」も販売が始まりますので、こちらもご賞味ください。(企画部)



農産物直売所「あぐりや」



お知らせ

本県初の高病原性鳥

インフルエンザウイルスの確認について

郡山市内の浄水場の貯水池で死んでいた野鳥のカモ類(キンクロハジロ)から、福島県内で初めて高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されました。ウイルスは毒性の強いH5N1亜型で、警戒を要することから、平成23年1月20日に福島県高病原性鳥インフルエンザ相双地方対策本部会議を開催し、管内市町村や関係機関・団体と今後の対応について確認しました。

なお、鳥インフルエンザウイルスは、野鳥観察など通常の接し方では、人には感染しないと考えられています。日常生活において、野鳥などの排泄物等に触れた後には、手洗いとうがいをしていただければ、過度に心配する必要はありませんが、野鳥にむやみに近づくことは避けましょう。

また畜産農家の皆様方におかれましては、引き続き、飼養衛生管理の徹底や早期発見に万全を期していただくようお願いいたします。(農業振興普及部)

※ 鳥インフルエンザとは、鳥類がA型インフルエンザウイルスに感染して起こる病気です。「鳥インフルエンザ」ウイルスの中には、家きんなどを死亡させる強毒な株(H5N1型)があり、その感染によって起こる病気を「高病原性鳥インフルエンザ」と呼んでいます。



福島県高病原性鳥インフルエンザ相双地方対策本部会議

トピックス

農林漁業者と商工業者の 新たな連携を目指して・・・

そうそう・6次化ネットワーク交流会が 開催されました

12月7日、そうそう・地域産業6次化推進会議主催の「そうそう・6次化ネットワーク第2回交流会 ～講演&意見交換会～」が道の駅「南相馬」で開催され、そうそう・6次化ネットワーク会員など、67名の方々が参加しました。

はじめに、株式会社ジェイラップ代表取締役の伊藤俊彦さんによる「つくる人と食べる人をつなぐ」と題する講演では、商品における顧客満足度の重要性などについて話され、そうそう・6次化ネットワークの会員がこれから6次化を推進するにあたりエールをいただきました。

引き続き、意見交換会が行われ、会員19名から自らの素材や取り組んでいる内容、必要としているシーズなどについて発表していただきました。特に商品開発にあたり県の支援を期待する声などが聞かれました。

その後、講師を交えて会員同士の活発な自由交流が行われました。

新たな連携が進むなど、今後の6次化の推進が期待されます。

また、昼食の時間には、6次化試作品として地元産きぬあずまを使用した相双モツうどん(仮称)などの試食会が実施され、アンケートによる求評が行われました。(企画部)



木質バイオマス資源の利用が加速!!! 移動式チッパー稼働!!

近年、地球環境に優しく、循環的利用が可能な「木質バイオマス」の利活用が進められています。木質バイオマスとは、これまで森林の手入れ(間伐)の際に切り捨てられていた間伐材や枝などの林地残材、製材工場などから発生する端材や樹皮などのことで、これらの燃料用資源への利用が増えています。

今回、森林整備加速化・林業再生基金事業を活用し、木質バイオマス加工用機械として管内で初めて移動式チッパーが導入されました。導入したのは、製材業のほか森林整備事業を展開する南相馬市の千葉製材所です。今後は、この移動式チッパーによりこれまで林内に放置されてきた間伐材や枝条を含めた森林資源の有効活用が図られるとともに、現地でもチップを生産することにより搬出コストが改善され、林業事業者や森林所有者への利益還元にもつながることが期待されています。

さらに、原町火力発電所においても木質バイオマス燃料を導入しての発電が計画されるなど、今後ますます、木質バイオマス資源の需要が増大していくことが期待されます。

木質バイオマス資源の利用は資源の収集や運搬、バイオマスエネルギー供給施設や利用施設の管理・運営など、新しい産業と雇用が創られ、地域の活性化に大きく貢献していくものです。農林事務所としても、この好機を生かし、これまでの木材としての利用推進のほか、木質バイオマス利用を森林・林業の再生に繋げていきます。(森林林業部)



相双地方グリーンツーリズム 支援研修会が開催されました

1月26日、「相双地方グリーンツーリズム支援研修会」が開催され、管内市町村・商工会・観光協会等担当者、農家民宿経営者等約40名が参加しました。

まず、株式会社リクルート旅行カンパニーじゃらんリサーチセンター研究員の横山幸代氏より「～「農業観光」今後の展望“週末は農場ランチ”プロジェクト～」と題して、今後の農山漁村におけるグリーンツーリズムの方向性について講演をいただきました。

次に、相双地方のグリーンツーリズムの事例報告として農家民宿「ほほえみの宿」経営者渡部チイ子氏及び「子ども農山漁村交流プロジェクト」受入地域協議会である富岡・川内地区ふるさと子ども夢学校推進協議会事務局の猪狩力氏より活動内容の報告がありました。

最後に、相双地方におけるグリーンツーリズムのさらなる活性化に向けて参加者間で活発に意見交換が行われました。

研修会を契機として、管内のグリーンツーリズム実践者等が互いに連携を深めることが期待されます。(企画部)



おしらせ 「そうそう農林サポーター」 をご活用ください

「そうそう『食』『農』サポーター」は、食や農に関する学習に役立てることのできる知識・技能を持ち、地域農産物、県農林水産業に対する理解の促進などを図る活動にご協力いただける方々です。

郷土料理教室の講師や農業体験学習の指導者、農業施設の見学や農業体験を行わせてもらえる農場などをお探しでしたら、お気軽にご相談下さい。

自治会や子供会等の地域の団体、学校、市町村等の公的団体等が主催する講習会や交流会、授業などがサポートの対象となっております。

内容、日時によってはお引き受けできない場合もありますので、ご相談は1ヶ月以上前にご連絡いただけますようお願いいたします。

(企画部)

お問い合わせ先:

福島県相双農林事務所 地域農林企画課
TEL:0244-26-1153



ご意見・ご感想・PRしたい情報などをお寄せ下さい。 福島県相双農林事務所 企画部

〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町一丁目30番地

TEL:0244-26-1153 FAX:0244-26-1181

ホームページアドレス <http://www.pref.fukushima.jp/norin-sousou/>



R100
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。